



多様な幼児児童生徒に「新しい時代を創るために必要とされる資質・能力」の育成に向けて



令和8年度 学力向上推進本部会議からの提言

本県の幼児児童生徒が学び・育ちの実感を得ながら主体的に学ぶ姿勢を身に付けられるよう『「自立した学習者」育成プロジェクト』（令和7～9年度）に示す取組も学校・家庭・地域・行政が連携・協働しながら推進しましょう。

「自立した学習者」育成をめざし、子供にとって魅力ある園・学校

教職員にとって魅力ある園・学校

提言1 「子供の姿」に基づく授業改善の推進

～他者と関わりながら、問いをもち、課題の解決に向かう、
「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくり～

- 授業改善のための4つの取組
 - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
 - 「指導と評価の一体化」の実現
 - 「学習基盤としてのICT」の活用
 - 「自学自習力」を育む取組の充実
- 授業改善を支える生徒指導4つのポイント
 - 自己存在感の感受
 - 共感的な人間関係の育成
 - 自己決定の場の提供
 - 安全・安心な風土の醸成

多様な児童生徒一人一人が、自分のよさに気付き、可能性を伸ばしながら、主体性を持って取り組めるような授業の質的改善に向けて、一人一人の学びや成長に着目し、「子供の姿」に基づいた組織的・継続的な取組を推進しましょう。

提言2 児童生徒と教職員が共に成長できる学校改善の推進

～自校の「目指す児童生徒像」実現化を目指した
校内研修の充実による、学校全体の教育力向上～

- 自校の「目指す児童生徒像」につながる「育成を目指す資質・能力」を明確にし、全教職員で共有することで、具体的取組の日常化
- 「支持的風土の醸成」「自治意識の醸成」「学習観の転換」を念頭に、知識伝達型の学びだけではない、自らの経験や他者から学ぶといった「現場の経験」も含む学びのスタイルの重視

全教職員が研修を自分事として捉えることができ、日々の授業などにその成果が反映させやすく、教員自身が学びの成果を実感しやすくなる、自校の「目指す児童生徒像」実現化を目指した校内研修の充実を図りましょう。



提言3 「夢・なりたい自分」の実現に向けたキャリア教育の充実

～教育活動全体を通した、多様な幼児児童生徒の
「か・ふ・や・み」力の育成によるキャリア発達の促進～

- 「夢・なりたい自分」の実現に向けて、目的意識をもって、授業や特別活動等に取り組む児童生徒の育成
- 「キャリア・パスポート」の活用促進
- 「安心・所属・承認・自立」が機能した自治的な活動の推進

多様な幼児児童生徒が、将来、社会で自分自身のよさを発揮し、社会人・職業人として自立するために必要な『かかわる力』『ふり返る力』『やりぬく力』『みとおす力』を育成するための「キャリア教育」を教育活動全体で推進しましょう。



提言4 心身ともに健康な幼児児童生徒の育成及び部活動等の充実と地域展開の推進

～多様な幼児児童生徒の運動・スポーツ、
文化芸術等に親しむ意欲・態度の育成～

- 生涯にわたって運動・スポーツ、文化芸術等に親しむ意欲・態度を育てる体育・保健体育授業等の工夫改善
- 食育、安全教育の促進
- 適切な部活動のあり方及び中学校部活動の段階的な地域連携・地域展開の推進

生涯にわたる豊かで健康的な人生を実現するため、運動やスポーツ、文化芸術活動に親しむ資質・能力を育成する体育・保健体育の授業を工夫改善し、充実を図りましょう。

また、適切な中学部活動の実施とともに、生徒のスポーツ、文化芸術活動に親しむ機会の確保や、多種多様な活動への参加を目指し、段階的な地域連携・地域展開を推進しましょう。



提言5 質の高い幼児教育及び 保幼小の円滑な接続の推進

～資質・能力をつなぐ保育・教育の充実～

- 計画的な園内研修・公開保育の充実（幼児教育）
- 各園・小学校や地域の創意工夫を生かした「架け橋プログラム」の推進（幼児教育・小学校教育）

各園においては、園内研修や公開保育を通して、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点を手掛かりとし、幼児一人一人の良さや可能性を把握していくとともに、指導が適切であったかを振り返り、指導の改善に生かしていきましょう。

各園・小学校においては、相互に実践を見合ったり合同研修を行ったりすることや、架け橋期（5歳児と小学校1年生の2年間）のカリキュラムの開発・実施等、「架け橋プログラム」を進め、育みたい資質・能力や遊び・学びのプロセス、教育活動について相互理解を図り、保育・教育の充実並びに保幼小の円滑な接続を推進しましょう。



提言6 働き方改革とメンタルヘルスケアの推進

～教職員が、心身ともに健康で
働きやすさと働きがいを感じながら、
児童生徒と共に学び、成長できる環境整備の推進～

- 「みんなの学校！」「ピースフル・プラン」及び取組目標「私たちのピース・リスト2023」の推進
- 「チーム」と「対話」で実現を目指す『チーム学校』
- キャリアステージに応じた教職員の資質能力の向上

教職員一人一人が、良好な人間関係を築き、心身ともに健康で学校教育の質の向上に専念し、児童生徒と共に学び、成長しながら、専門性を十分に発揮して「子供たちへのより良い教育」を行っていく教育環境を整えていきましょう。

教職員も自らの状況を振り返り、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を思い描き、専門性の向上等、キャリア形成を図りましょう。



家庭・地域等と共に創る 魅力ある園・学校

提言7 社会に開かれた教育課程の実現

～学校が人をつくり、人が地域をつくり
地域が学校をつくる～

- 規則正しい生活・家庭学習習慣の確立、情報モラルの遵守
- ファミリー読書（学校・家庭・地域・関係機関の連携・協働）
- 「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的推進
- 「人的・物的資源の活用等」を位置づけた「カリキュラム・マネジメント」の推進

急速な社会変化にも対応できる「生涯学習社会の中で主体的に学び続ける自立した学習者」の育成が一層重要になっています。

学校・家庭・地域等が子供の教育を共に考え、連携・協働、実践、評価を円滑に機能させ「社会に開かれた教育課程」の実現を図りましょう。

学校、家庭・地域等が一体となって誰一人取り残すことなく、多様な幼児児童生徒の資質・能力の育成を目指しましょう。

